

【評価概要】

1 評価対象事業63事業のうち、事業の必要性、効率化、合理化等の観点から見直す必要があることが判明した事業は、既に措置を講じた事業を含め、合計で32事業(50.8%)であった。

2 評価類型

(1) 目標を達成した事業(49事業、77.8%)

① 引き続き適切に実施する必要がある事業 31事業

② 事業について見直しを行った事業 6事業

③ 廃止することとした事業 12事業

(2) 目標を一部達成した事業(11事業、12.7%)

① 目標達成のための手法の検討が必要であるが、引き続き適切に実施する事業 7事業

② 事業について見直しを行った事業 1事業

③ 廃止することとした事業 3事業

(3) 目標を達成できなかった事業(3事業、3.8%)

事業の廃止を含め見直す必要がある事業 3事業

3 目標の見直し

(1) 平成18年度目標を改善した事業 10事業

(2) 平成19年度新規事業 6事業